

議  
町

長 日程第3「町長の所信表明」に入ります。

長 皆さん、改めましておはようございます。本日からの11日間、議会定例会、何とぞよろしくお願いを申し上げます。春の足音が聞こえ始めた季節となりましたきょうこのごろ、議員の皆様方各位におかれましては、ますますの御健勝のことと心からお喜びを申し上げます。

さて、去る2月25日に、平成31年第1回松田町議会定例会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともに大変御多用のところ、全員の御出席を賜り、ここに本定例会が開会されますことを、まずもって御礼を申し上げます。ありがとうございます。

まず、3月11日に、岩手県陸前高田市の東日本大震災追悼式の御案内がありましたので、本年度は松田中学校の卒業式と重なっているために、昨年と同様の日帰りとなりますが、私ではなく副町長さんにですね、松田町の代表として参列をいただくという予定になっております。あの震災から早くも8年目を迎えることになりまして、最愛の御家族、御親族、御友人を亡くされた方々のお気持ちを思うと、今なお哀惜の念にたえないところでもございます。お亡くなりになった多くの方々に御冥福をお祈りし、御遺族の皆様のお平安を心から御祈念申すとともにですね、被災された全ての方々に哀悼の意を捧げたいというふうに思っております。

それでは日付順に行事などを御報告させていただきます。

年を明けた1月5日、本年最初の町の行事といたしまして、松田町賀詞交歓会並びに表彰式を行いました。本年の表彰の栄に浴されましたのは、一般表彰10名、感謝状8名、2団体でございました。これからも町政に対しまして、さらなる御指導、御鞭撻を賜りたいというふうに存じております。また、ことしも式典の終了後に、ふるさと大使の北川大介さんの「おもてなしコンサート」を行い、町の寺子屋まつだに通う子供たちと一緒に童謡を歌うなど、昨年より多いおよそ400名の町民の方々に楽しんでいただいたところでもございます。

次に1月7日には、酒匂川町民親水広場にて消防出初式を挙行了しましたところ、議員の皆様方におきましては寒中の折にもかかわらず御高覧いただきまして、改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。消防団の皆

様方におきましては、本業を持ちながら日夜、火災や災害などから町民の生命・財産を守るために献身的な活動をしていただいているところにございますので、改めて深く感謝を申し上げたいというふうに思います。また、当日の、統制のとれた分列行進や消防操法は訓練の賜物であり、大変心強く感じたところでもございます。

続きまして、1月12日から始まりました寄ロウバイまつりは、開花が順調に進んだことから、当初日程どおり2月11日をもって終了をいたしました。今年度は過去最多の来場者数となりまして、約2万7,000人の方々に来園をしていただきました。甘い香りを楽しんでいただきました。実行委員の皆様方を初めとする関係者の皆様方におかれましては、寄地区のにぎわいはもちろんのこと、松田町のPRを担っていただいておりますことに、改めて深く感謝を申し上げるとともにですね、本当にお疲れさまでしたというふうな言葉をかけさせていただきたいというふうに思っております。

次に、1月13日には成人式を行い、大人の仲間入りをした新成人112名をお迎えし、私自身もフレッシュな気持ちとなったところでもございます。式典には国会議員の皆様方を初めとする議員の皆様方、御来賓として賜ることとともに、多くの関係者の皆さん方に御参加をいただきました。また、ことしは百八ツ火会によるみこしが披露され、成人式を華やかに盛り上げていただきました。

続きまして1月27日、足柄上合同庁舎をスタートし、松田町を初めとする上地区をですね、各市町を7人のランナーでたすきをつなぐ第73回足柄上地区一周駅伝競走大会が、14チーム出場のもと行われました。松田町は2チームエントリーし、松田Aチームについては、26大会ぶりに2位となる好成績をおさめていただきました。今年度は、第2区で快走をした女子高校生が区間新記録でたすきをつなげてくれました。沿道においては、町民の皆様方から心強い応援をいただき、まことにありがとうございました。また、大会を大いに盛り上げていただきました町体育協会の皆様方の御尽力はもとより、参加をしていただいた選手の日ごろの練習や努力、さらには関係する全ての方々との協働、連携協力によるものと感謝申し上げますところでもございます。この結果により、運

動やスポーツ、また社会参加を行う方々がふえることで、健康寿命の延伸につながることを期待しているところでもございます。

続きまして、1月31日には町内のコンビニエンスストア3店舗と、AED（自動体外式除細動器）設置に関する協定を結びました。住民の暮らしの安全と安心を確保につなげるため、急病者の救援体制の充実と、救命率の向上を目的に、24時間営業されているコンビニエンスストアさんとの連携、相互協力の関係を結んだところでもございます。

次に、2月9日より始まりました第21回まつだ桜まつりにつきましては、2月中旬から下旬にかけて満開を迎えており、多くの方々にぎわっているところでもございます。ことしも祭りに合わせて、商店街活性化イベントとして「第3回まつだ・桜ゆめフェスタ」も始まっております。空き店舗の有効活用と商店街の活性化を目的に、7軒が営業を行っていただき、松田山から町中へと人の流れをつくり、回遊型観光と経済効果を生み出す拠点として多くの方々にぎわっているところでもございます。また、松田在住の有志の皆様方が中心となって「松田まちなかもりあげ隊」を立ち上げていただき、2月23日から24日、2日間限定で、市街地でのにぎわいに向け、足柄名物ドリンクバーをJR御殿場線松田駅北口のポケットパークにて開催をし、桜まつりを盛り上げていただきました。今後の松田町での経済発展の一助となるということを期待しているところでもございます。

続いて、2月10日に開催されました第73回かながわ駅伝競走大会では、県内30チームが参加し、松田町は町村の部、11チーム中6位入賞、足柄上地区トップという成績で、昨年の記録を上回る好成績で終えることができました。1区の男子中学生は、区間3位の力走を見せてくれました。松田町を背負ってくれた選手、また関係者の皆様方には改めて感謝と敬意を送ります。

続きまして、第6次総合計画の策定に向けての最終審議、第5回の総合計画審議会を2月20日に開催し、審査委員長より答申をいただきました。審議会の委員の皆様には、今後の町の将来像や、長期的に目指すキーワードを実現するための戦略的課題、さらに6つの施策の大綱について議論を重ねていただき、この総合計画が、松田町自治基本条例の理念に基づいた施策、事業を評価し、

健全な財政運営に基づいた行政運営と協働のまちづくりを、SDGsの理念を踏まえて推進されるよう、強く要望をいただきました。今後、アクションプログラムについては、実施主体として「町民・事業者・行政等」との情報共有や参加、協働、連携協力としての取り組み状況、目標数値など、毎年度その課題や数値等の検証・評価について、PDCAサイクルを回してその改善等を行い、実効性のある計画として取り組んでまいります。町といたしましても、町職員の知識と技能の向上をさせ、町の将来像の実現に向けての姿勢として、結果にこだわり、期限内に約束を果たすということや、オール松田・チーム松田で積極的に行動し、協働・連携協力での情報公開や情報共有のための仲間をふやしてまいる所存でございます。

次に、新しく建設いたしました子育て世帯向け等の町屋住宅が完成し、3月2日に完成式典を開催をされました。当日は国会議員や県議員を初め、町議会の皆様方、地元の自治会長や地域の代表、工事関係者などに参列をいただき、町民の幸せづくりの第一歩となることを祈願をいたしましたところでございます。この住宅が、入居者と地域住民との間での融合が生まれ、地域に愛される地域コミュニティーの場であること、また、官民連携によるモデル事業として、引き続き責任を持って取り組んでまいりたいというふうに考えております。

3月3日には、本年度20回目となる、記念すべき20回目となります「ふくしあったかフェスタ」が町民文化センターにおいて、に会場を移して開催をされました。当日はあいにくの雨となりましたけども、障害をお持ちの方々、高齢者、子供たちなどなど、幅広い世代の方々に御参加をいただき、催し物を楽しんでいただきました。また、健康づくりに視点を当てた講演会を、プレイベント、アフターイベントとして開催いたしました。主催者であります町社会福祉協議会を初めとする関係団体の皆様方に対し、厚く御礼と感謝を申し上げる次第でもございます。

それでは、議会に先立ちまして、貴重なお時間を拝借いたしまして、平成31年度当初予算案を御審議いただくに当たり、所信の一端を述べさせていただくところでございますが、その前に、この定例会に提案させていただいております条例案、補正予算案等の概要について御説明を申し上げさせていただきます。

初めに、提出議案につきましては、新規条例 1 件、条例の一部を改正する条例 6 件、指定管理者の指定 1 件、補正予算 3 件、新年度予算 9 件を提出させていただきました。

議案第 1 号松田町新松田駅周辺整備基金条例については、新松田駅周辺整備基本構想・基本計画に基づき、町負担分の財源を段階的に確保するため、新松田駅周辺整備基金条例を設置するため提案するものでございます。

議案第 2 号松田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例については、長時間労働の是正のための措置といたしまして、働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律が、平成31年 4 月 1 日に施行になります。民間労働法制において、罰則付きの時間外労働の上限規制が導入されました。国家公務員においても、人事院規則において上限を定める措置が講じられ、4 月 1 日から施行されるのに鑑みて、地方公務員においても均衡の原則により、時間外勤務の上限を定める条例改正を行うものでございます。

議案第 3 号松田町税条例の一部を改正する条例については、地方税法等の一部改正に伴い、法人町民税法人税割の税率の改正、及び軽自動車税において、現行の軽自動車税とは別に「環境性能割」が市町村税として新たに創設、また「環境性能割」の創設により、これまでの軽自動車税の名称が「種別割」に改正されることに伴う条例改正を行うものでございます。

議案第 4 号松田町有施設使用条例等の一部を改正する条例につきましては、平成31年 3 月31日をもって松田町立中学校 2 校を閉校し、統合して 4 月 1 日に新生松田町立松田中学校を開校いたしますので、関連する松田町有施設使用条例の一部改正及び松田町立小、中学校の設置に関する条例の一部改正、並びに松田町学校水泳プール条例の一部改正を行うため提案するものでございます。

議案第 5 号松田町布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例については、学校教育法及び技術工法施行規則の一部改正に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件の変更が生じたため、条例の一部を改正するものでございます。

議案第 6 号松田町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例については、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害援護資金

の貸付利率について、固定利率から低い利率での貸し付けが可能となるよう条例を改正し、被災者支援の充実強化を図るため提案するものでございます。

議案第7号松田町消防団条例の一部を改正する条例は、日中の不足する消防団員を補填するため、消防OBの方を機能別消防団員として配備することで、日中の消防活動の強化を図ることを目的に、条例の一部を改正し、機能別消防団員の位置づけを明確にするため提案するものでございます。

議案第8号松田町創生推進拠点施設の指定管理者の指定については、松田町創生推進拠点施設の指定管理者について、地方自治法第244条の2第3項の規定により、議会の議決を求めるため提出をさせていただくものでございます。

議案第9号平成30年度松田町一般会計補正予算（第9号）は、主なものは年度内のほぼ最後の補正予算でございますので、事業費が確定し、不用となった予算額などを整理させていただいたものでございます。

議案第10号平成30年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）は、保険給付費における療養給付費、高額療養費がふえたことによる増額補正並びに第三者納付金の歳入補正をさせていただくものでございます。

議案第11号平成30年度松田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）は、神奈川県後期高齢者医療広域連合への保険基盤安定負担金に係る納付金の減額補正、後期高齢者医療広域連合から保険料の還付財源の雑入に係る補正をさせていただくものです。

以上が提出条例案と、30年度補正予算案のそれぞれの概要でございます。

続きまして、平成最後の年の議会開会に当たり、町政運営に対する所信を述べ、議会の皆様並びに町民の皆様に御理解と御協力を賜りたいと存じます。議案とともにお届けをいたしました「平成31年第1回議会定例会所信表明」をもとに、平成31年度当初予算案の概要を御説明申し上げますとともに、当面の町政に対する取り組みなどについて、所信の一端を述べさせていただくわけですが、新規事業と重要事項の概要のみとさせていただくことを御了承いただきたいというふうに存じます。

初めに、町民・議会・地域との協働・連携協力による持続可能なまちづくりを実現するため、昨年、松田町自治基本条例を制定し、常に町民の目線に立ち、

町民のための町政を前進させてまいりました。地方創生関連事業を初めとした定住促進施策、防災対策の充実、高齢者や子育て世帯への支援など、議会議員の皆様、町民の皆様に多大な御支援、御協力をいただき、地域の活力や町民福祉の向上に必要な施策を展開してきたことに、改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。行政需要は多様化・複雑化し、本町を取り巻く環境は大きく変化し、少子高齢化対策や自然災害への対応、福祉医療サービスの充実、老朽化した公共施設の維持・更新など、行政課題の解決は尽きない状況となっております。

そのような中、平成31年度よりスタートいたします第6次総合計画基本構想の将来像「いのち育み 未来へつなぐ 進化つづける 故郷」の実現に向け、私は町民の皆様が「笑顔あふれる幸せのまち 松田」として、誇りと愛着を持ち続けられるよう、持続可能な開発目標・SDGsの理念を踏まえて、さらなる成長と発展に取り組んでまいります。

それでは、平成31年度当初予算案の概要を御説明をさせていただきます。

平成31年度における町の予算規模は、一般会計では48億8,000万円、前年度対比1億1,000万円の減、率にして2.2%の減となっております。今後、大型公共事業であります松田小学校整備事業や、新松田駅周辺整備事業の推進を含め、町の将来を見据えた予算編成といたしました。

主な事業といたしましては、松田小学校整備事業に要する町道3号線道路改良事業や、新松田駅周辺整備における地域整備促進支援委託、並びに県西地区の自治体として、小田原市に次ぐ2番目となる立地適正化計画の策定、防災行政無線のデジタル化整備事業、新たな保育希望者の受け入れ環境整備事業などがございます。また、国民健康保険事業などの7特別会計の総額は31億35万円で4,045万円の減、率にして1.3%の減、企業会計の上水道事業会計は2億387万円で232万円の減、率にして1.1%の減となりました。これら9会計の31年度予算総額は81億8,422万円で、前年度比1億5,277万円の減、率にして1.8%の減となっております。

次に、予算編成の基本的な考え方でございますが、我が国の経済は緩やかに回復の継続が期待されるものの、海外経済の不確実性や、金融資本市場の変動

の影響といった不安定要素にも加え、相次ぐ自然災害が経済に与える影響にも十分留意する必要がある、引き続き楽観視できる状況ではございません。町を取り巻く環境も同様であり、今後も地方交付税などに依存し過ぎることのない、創意工夫による自立自走の行政運営が求められているところでもございます。

このような状況の中、新年度予算の編成に当たっては、これまでも国の地方創生などの動きに対し、積極的な事業展開を図ってきたところでもございますが、人口減少や町内における産業活動の低下など、歳入環境に大きな影響を及ぼすマイナス要因が取り除かれておらず、歳出の面においても、今後新たな建設事業等に伴う地方債償還額の増加や、更新時期を迎える老朽化した公共インフラ等の更新等の費用捻出が課題となっており、財政運営は引き続き創意工夫が必要になることが予想されております。この課題等を乗り越えていくための鍵となるのが、平成31年度からスタートする第6次総合計画基本構想の将来像であります「いのち育み 未来へつなぐ 進化つづける 故郷」を実現するため、アクションプログラムに掲げた施策、事業をスタートしてまいります。今後、当面の間は、町政運営の根幹となります自主財源の確保について、人口減少に伴う町税収入等の減少を抑制するためにも、引き続き人口減少抑制策に取り組み、また、町が所有する土地についても、最も有効で有益な活用方法による対応を図るとともに、官民連携による新たな手法、アイデアを積極的に取り入れ、ブランド品の開発や一次産業、商工業の活性化等、新たな財源確保を図り「稼げるまちづくり」を目指しつつ、並行して将来を見据えた子育てや教育環境を整えるため、松田小学校整備事業や新たな保育施設整備を行い、また、人口減少を抑制すべく、町の魅力の向上のために、高齢者福祉の充実の向上を初め、新松田駅周辺整備事業を着実に進めることで、安定的な税収等の確保やにぎわい、雇用の創出などにつながる事業として重点的に捉え、オール松田で米百俵の精神を貫き、未来を担う子供たちの成長を支えるとともに、持続発展的で魅力あるまちづくりの礎を築けるよう、将来を見据えた「いのち育み 未来へつなぐ 進化つづける 故郷」づくりストーリーの第一歩となる予算といたしました。

それでは、一般会計における歳入歳出について、特色のあるものを中心に御



説明を申し上げます。

まず、歳入のうち町税は15億3,747万円、前年度対比924万円の減、率にして0.6%の減となりました。

固定資産税につきましては、新築家屋の増に伴う家屋や、設備投資に伴う償却資産の増収、維持費の儉約のための軽自動車への買いかえによる軽自動車税の増収を見込んでおりますが、個人住民税所得割及び退職者の減少による個人住民税退職所得、法人町民税法人税割の予定申告に係る確定申告による精算、並びに土地の下落修正による固定資産税の減収を見込み、全体としては減額となっているところでございます。

続いて地方交付税でございますが、8億9,800万円で1,800万円の増となります。

国庫支出金は5億9,098万円で、前年度対比1億4,379万円、19.6%の減となっております。PFI法に基づく町営住宅建設の完了したことが、減額の要因となっております。

そのほか、社会資本整備総合交付金、地方創生推進交付金、障害者福祉国庫負担金などが計上されております。

続いて県支出金でございますが、3億1,263万円で、208万円、0.7%の減となっております。主なものは、水源環境保全・再生施策市町村交付金、市町村自治基盤強化総合補助金などを計上しております。

続きまして寄附金でございますが、1億1,500万円、前年度より3,500万円の減であります。ふるさと納税等によるものでございまして、国が示す新たなルールなど動向を注視し、観光PRの推進や包括連携協定締結事業者との協力し、顧客の拡大、また返礼品の品目をふやすなど、寄附額の積極的な受け入れを図ってまいります。

次に繰入金ですが、1億4,512万円となっており、新年度からは財政調整基金から3,000万円繰り入れし、教育施設整備基金から松田小学校整備事業に伴う事業経費分1億1,500万円などを繰り入れ予定をしております。なお、財政調整基金の残高でございますが、31年度末残高の見込みは、3億2,465万円となる見込みでございます。

最後に町債ですが、5億8,809万円で、9,511万円の減、率にして13.9%の減となっております。平成31年度で予定している起債につきましては、町営河内住宅外壁補修事業850万円、小田原市斎場整備事業1,820万円を初め、橋梁長寿命化事業、道路新設改良整備事業、新松田駅南口駅前広場整備事業、防災行政無線デジタル化事業、土佐原地域集会施設建設事業、並びに臨時財政対策債の発行を予定しているところでございます。なお、臨時財政対策債につきましては1億8,000万円で、前年度比1,200万円の減、6.3%の減となっております、昨年に引き続き減少しております。

次に歳出でございます。主な施策について、予算科目順に御説明を申し上げます。

初めに議会費ですが、予算額8,572万円で、前年度対比73万円、0.8%の減となっております。

続いて総務費です。8億5,360万円で、前年度対比4,661万円、5.2%の減となっております。

まずは、地方創生推進事業といたしまして、2事業を計上しております。

1つ目の県西地域活性化プロジェクト推進事業2,138万円は、松田町を含む県西地域2市8町と神奈川県で連携し、未病改善をキーワードに地域活性化を推進する事業であります。足柄地域や県西地域へ波及させる機能を備えていく事業であります。この中で、国際交流事業や駅周辺地域広域案内等の事業に取り組むものでございます。

2つ目に、女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業といたしまして3,267万円。人口減少の理由の一つと示されている、若い女性の減少を抑制するための事業として、女性が輝き活躍しているまちづくりの実現に向け、地域や団体、NPOなど、起業・創業が自走できる新しい仕組みから、拠点施設の運営に伴う支援に取り組む経費でございます。特に、女性の創業支援を図り、交流人口や関係人口の確保・増加につなげてまいりたいと考えております。また、本年度は町制施行110周年を迎えますので、その記念事業に102万円を計上しております。

続きまして、重点課題であります定住化促進事業に引き続き取り組んでまい

ります。定住少子化対策支援事業や、移住交流事業889万円の中に含まれますが、空き家や民間賃貸住宅の空き室の解消に向け、子育て世代等の支援、民間賃貸住宅家賃補助に96万円。定住希望者への積極的な情報提供、実際に町に住まいを定めた方や、雇用を創出した企業に対する支援、町の魅力の再発見を促す同窓会開催への支援、また公共交通対策事業として765万円を計上し、路線バスの維持確保をあわせた地域公共交通対策といたしまして、乗合バス運行補助事業、通学定期券助成事業、高齢者バス定期券助成事業についても、継続して行うものでございます。

そのほか、松田町の歴史に根づくおもてなしの文化を、町一丸となり内外に向け発信・浸透させるための経費として、ふるさと大使によるおもてなし講演などを通じ、人や地域のつながりを再発見することで、松田の魅力としておもてなしの価値を高め、交流・定住人口の増加を図るために、町外への発信を強化することを目的といたしましたシティプロモーション・おもてなし推進事業に233万円。また、ふるさと納税に係る経費といたしまして5,744万円を計上し、観光PRの推進や包括連携協定締結事業者と協力いたしまして、顧客や関係人口の拡大、また返礼品の品目をふやすなど取り組みます。

次に、町民文化センター経費といたしまして3,829万円を計上し、新しい機能を備えた複合拠点施設として、歳入を見込んだ自主事業経費500万円を計上しております。

交通安全対策経費といたしまして、新しくドライブレコーダー設置費補助金として30万円を計上しました。

また、新年度より、住民の利便性及び収納率の向上を図るための経費といたしまして、税の一部においてコンビニ収納と、住民票などのコンビニ交付を実施いたします。

民生費ですが、予算額13億445万円、前年度対比3,974万円の増、率にして3.1%の増となっております。増額の要因といたしましては、障害福祉サービス等給付事業1,298万円の増額、保育所運営事業2,035万円の増額、さらに新たな小規模保育施設整備費として767万円を計上し、その他、子育て支援センター・ファミリーサポート事業に1,794万円を計上し、松田さくら保育園内に、

町内2カ所体制となる子育て支援センター機能の継続による子育て世帯の支援充実を図ってまいります。そして、高齢者社会参加促進事業として222万円を計上し、町有バスの活用による社会参加の増加による健康増進を図ることや、障害をお持ちの方々のための基本的な施策はもちろん継続するほか、中学校修了まで医療費の無償化をしている小児医療費助成事業についても、31年度は3,814万円の予算を計上し、事業を継続してまいります。

さらに定住化対策の一環として、ひとり親家庭等医療費助成事業に648万円、学童保育運営事業1,589万円を計上するなどして、事業を継続してまいります。なお、児童手当事業には1億3,200万円計上したところでございます。

続いて衛生費でございます。予算額は3億3,019万円で、前年度対比5,671万円の減、率にして14.7%の減となっております。減額の主な要因としましては、平成31年度供用開始を予定しております小田原市斎場事務等に係る経費の減となっております。継続事業では、30年度スタートしました小・中学生へのインフルエンザワクチンの任意接種の費用の一部を助成する事業などを含めました、感染症予防事業に3,023万円が計上しております。この衛生費でも、新規事業といたしまして健康増進事業に足柄上地区1市5町共同による胃内視鏡検診や、拡充事業といたしまして寄地区合併処理関係事業などに引き続いて取り組んでまいります。

続いて農林水産業費です。農林水産業費の予算額は9,057万円で、前年度対比1,201万円、11.7%の減となっております。

継続事業であります。寄ロウバイまつり等を開催し、寄地区に観光客を迎え入れ、交流人口を増加させるため、寄自然休養村の管理に要する経費と農泊への取り組みを支援する助成金として1,148万円を計上し、豊かな環境、生態系を保全し、動植物の命を守り、未病の改善などにより人の命も守る「里地里山」の活動についてエリアを拡大し、里地里山活動協定地の対象団体に対し支援する里地里山保全・再生事業に121万円を計上いたしました。そのほかには、かながわ水源環境保全・再生実行5カ年計画に基づき、地域水源林として位置づけた区域の私有林等の整備事業について、291万円を計上させていただきました。

次に商工費でございます。予算額1億4,183万円で、前年度対比475万円の減、3.2%の減となっております。今年度も町内の商工業の発展を目的に、松田ちよい呑みフェスティバルや、店舗リノベーション費用の支援、町独自の事業といたしまして、商工振興商品券発行事業に要する経費としまして、商工振興対策事業として1,054万円を計上し、また31年度の桜まつり、きらきらフェスタ事業など、観光宣伝事業に1,733万円計上させていただきました。

また、継続事業の新松田駅前観光案内待合所等の運営事業95万円を計上し、指定管理から町管理となりましたハーブガーデン管理費は3,353万円を計上いたしました。

続きまして土木費です。予算額は7億6,234万円で、前年度対比2億5,760万円の減、率にして25.3%の減となっております。減の主なものが、PFI手法を取り入れた町営住宅建設事業の終了に伴う減額でございます。

定住促進のために、住環境などの基盤整備は不可欠なものでございます。平成31年度は、道路新設改良に要する経費3億297万円を計上し、安心安全な環境整備、並びに住宅地等の誘導促進として道路整備を促進してまいります。新松田駅周辺整備推進事業経費505万円、立地適正化計画策定経費700万円の予算を計上いたしました。新松田駅南口駅前広場整備事業に1億5,538万円、また道路補修事業費といたしまして、町道1号線ほか路面標示設置工事や、町道4号線側溝補修工事などに1,930万円を予算計上いたしました。

次に消防費でございます。予算額は3億7,228万円で、前年度対比1億4,385万円の増、率にして63%の増となっております。主な増額要因といたしましては、防災行政無線デジタル化整備に向け2カ年計画の1年目として、施工監理費用を含めた防災無線管理事業1億5,824万円が主なものです。また、防災資器材等整備事業として、防災倉庫備蓄品、災害時非常食購入費など595万円を計上しております。

教育費でございますが、5億7,344万円で、前年度対比1億90万円の増、21.4%の増でございます。新規事業としまして、中学校就学準備助成金30万円を計上し、保護者負担軽減を図るため、新しい制服・体操服の購入費の一部を助成する事業や、松田小学校整備に要する経費1億1,500万円、社会教育推進

事業として、町内の小学生が所属する文化団体やスポーツを対象に、団体の存続を支援することを目的に、スーパーキッズ育成団体助成金50万円を計上しております。

小学校整備事業に伴う教育施設整備基金に積立金3,000万円を計上し、また中高生を対象に、文化・芸術・スポーツなどの各分野において、トップランナーとして活躍することが期待される生徒に、さらなる成長や技術向上のために財政支援として、未来トップランナー育成・応援助成金として60万円を計上いたしました。また、小・中学校が土曜日等の休日に、地域の方の協力によりさまざまなプログラムを実施するための経費「土曜日の教育活動支援事業費」218万円、町制施行110周年を記念し、第2回松田氏サミット事業委託40万円を計上いたしました。継続事業であります、学校ICT教育事業としまして2,274万円を計上し、小学5年生から中学3年生までの全ての児童・生徒にタブレットが配備されておりますので、あわせて事業を効果的にサポートするための支援員の派遣にかかる費用などがございます。

そして、この教育費にも幾つかの定住化促進事業があり、給食費保護者負担軽減措置事業として683万円、学校警備員配置事業746万円、小・中学校における障害のある児童・生徒のための介助員や、通常学級でも学習支援を要する児童・生徒に対する学習支援員を配置する事業を継続するとともに、幼稚園2園とともに3年保育を実施し、無料送迎バスの運行を継続してまいります。教育施設整備基金につきましては、平成31年度末の残高におきまして、1億9,611万円となる予定となっております。

公債費ですが、3億4,210万円、前年度対比1,458万円、率にして4.1%の減となりました。

最後に予備費といたしまして、本年度は2,350万円を計上しております。

以上が一般会計における平成31年度当初予算案のあらましとなります。

続きまして、特別会計・企業会計について御説明を申し上げます。

まず、国民健康保険事業特別会計でございます。予算額は13億8,498万円で、前年度対比4,416万円、3.1%の減となっております。平成30年度から、国民健康保険制度の広域化により、都道府県が財政運営の責任主体となって2年目に

入ります。平成33年度の国民健康保険税の資産税割廃止に向け、本年度から経過措置を始めます。町は地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を担っております。町の国民健康保険は、被保険者の減少や高齢化、所得の減少、さらに軽減税率の拡充、また税率改正などから、保険税率収入は前年度比7.4%の減となっております。国民健康保険事業納付金については、国民健康保険制度の広域化の制度設計の激変緩和が引き続き図られることとなっております。制度の改正の影響を鑑みながら、事業遂行、医療費の適正化に取り組んでまいります。また、新たに保険者努力支援制度による交付金の財源確保をもとに、管理栄養士を配置し、生活習慣病の重症化予防に傾注してまいります。保健事業の地域包括ケアシステム推進事業においては、健康の見える化事業に引き続いて取り組んでまいります。

次に、国民健康保険診療所特別会計でございますが、予算額は7,511万円、前年度対比2万円の減となっております。国民健康保険診療所は、地域の皆様方から信頼されて、身近で安心な診療が受けられる医療機関として、重要な役割を担っております。引き続き、嘱託の医師と県立足柄上病院の医師とで診療を行い、町民の皆様の健康と地域医療の向上に取り組んでまいります。今年度は、耐用年数を経過した事業用備品のX線画像読み取り装置と、小型分包機の更新を予定しております。

次に、上水道事業会計についてでございます。予算額は2億387万円で、前年度対比232万円、1.1%の減となっております。水道使用料につきましては、節水志向による使用水量の減少により3.5%の減となっております。資本的支出につきましては、県道72号線の改良にあわせた配水管の布設替え工事と、神山配水池緊急遮断弁更新工事を予定しております。引き続き、安全でおいしい水の供給と、非常時に対応できるよう取り組んでまいります。

次に、寄簡易水道事業特別会計でございます。予算額は5,591万円で、前年度対比181万円、3.8%の増額となっております。歳入につきましては、水道使用料が前年度対比0.7%減となりますが、歳出につきましては、町民の皆様が安心して暮らせるよう安定した供給を行うために、必要な更新工事等を予定し

ておるところでございます。

次に、下水道事業特別会計についてでございます。予算額は3億1,256万円となり、前年度対比1,617万円、4.9%の減となっております。快適な暮らしを営むための生活環境の向上と、河川環境の保全に向けて、計画的に下水道の整備及び維持管理に取り組んでおります。なお、現在の整備率は89.8%となっております。歳入のうち、下水道使用料は前年度対比300万円の増となっております。また、一般会計からの繰入金1億3,000万円は、町債の償還に充てております。主な歳出につきましては、流量計更新工事ほか、経営戦略策定業務委託等を予定しております。このほか、歳出の大きな割合を占めている元利償還金については、24年度の町債の借り換えにより支出を抑制し、また平成29年度に料金改定を実施したことにより、一般会計からの繰入金への依存割合を削減させました。今後も収支バランスを勘案し、健全な運営に向け議員の皆様の御意見をいただきながら進めてまいりたいというふうに考えております。

続きまして、介護保険事業特別会計でございます。予算額は10億7,629万円となり、前年度対比1,775万円、1.7%の増となっております。介護保険事業につきましては、平成30年度から平成32年度を計画期間とする第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画がスタートいたします。介護保険制度は、計画期間に合わせて3年ごとに大きな見直しが行われ、昨年度に計画を策定いたしました。この計画では、高齢者を主体として、住みなれた地域での生活を支える地域包括ケアシステムの深化・推進を重点目標とし、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、持続可能性を確保することに配慮し、適正なサービス提供をすることを目的といたしております。

次に、用地取得特別会計でございます。予算額は2,193万円となり、前年と同額となっております。平成23年度に取得いたしました籠場町有地、平成27年度に取得いたしました旧松田土木跡地の起債に対する元利償還金を計上しております。

最後に、後期高齢者医療特別会計でございます。予算額は1億7,357万円で、前年度対比34万円の増となっております。後期高齢者医療関係では、この特別会計のほかに一般会計から後期高齢者医療広域連合へ直接支出する広域連合事



務費負担金といたしまして738万円と、法定の市町村定率負担金1億2,077万円を計上いたしております。

以上が平成31年度当初予算案と当面の町政運営についての私からの所信の一端を終わりをさせていただきます。

さて、承認を求める件及び同意を願う件につきましては、準備が整い次第御提案をさせていただきますので、その節には何とぞよろしくお願い申し上げます。御説明申し上げました諸議案につきましては、議事の進行に伴い、私を初め副町長、教育長、課長等により御説明をさせていただきますので、よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。以上で、所信表明並びに行政報告を終わりにいたします。長い時間、御静聴ありがとうございました。

議 長 町長の所信表明を終わります。